

第1回 岩室村 農業祭

▷期 日
11月14~15日 (2日間)

▷場 所
公民館、車輛センター
村民体育館

▷行事内容
○講演 (15日午前)
「80年代、農業の情勢」

講師
新潟日報編集委員
酒井 義昭 先生

○農林産物展示即売会

○農業機械展示会

○乳製品展示即売会

○牛乳料理講習会

○米を原料とした手づくり

食品展示会

○牛乳、コシヒカリのおにぎり、無料サービスコーナー

いろんな楽しい催しがいっぱいです。

みなさん、お誘い合せて多数おいでください。

社会体育振興のためと多額の淨財を寄付されました。



△田中 武さん
(新潟市)

永年、地域民謡クラブの指導にあたり、その育成に尽力、岩室甚句をはじめ民謡の普及に貢献されました。



△市川 サキさん
(岩室)

永年、役場職員として奉職、村行政の推進と地方自治の発展に貢献されました。



△田中久三郎さん
(新潟市)

公民館図書の充実及び、村政振興に役立てばしいと、多額の淨財を寄付されました。



△金子 耕三さん
(原)

村政振興及び、和納小学校の療器具購入のため役立てばしいと多額の淨財を寄付されました。



△石添 直衛さん
(岩室)

社会福祉の充実のため、役立てばしいと多額の淨財を寄付されました。

△小林 昭二さん
(和納六区)

この標識を瞬間に見分け判断しながら走行しているわけです。したがって大きいのが標識の果す役割は極めて大きいということを村民一人ひとりが再認識していただき、常に見やすい状況に保つておくことに対するご協力を得たいのです。したがって、これらが不備な箇所や、傾むいて放置されているところ、あるいは、カーブミラーの破損や取りつけ角度の異常など、みなさんのまわりに発見したら、私達が巡回しました折、こ指摘いただければと思います。

交通事故をなくそうと、警察署をはじめ、村では、それなりに精一杯の努力をしているにもかかわらず、毎日毎日くりかえされる交通事故、本当にどうなっているんでしょう。もしかしたら——オレだけは大丈夫とでも思っているんでしょうが、そしたらどんでもないことがあります。"交通安全"といつても特別なことをやるわけではありません。車を運転する人、歩く人、がそれぞれ自分の立場で交通ルルをしっかりと守ることで防止できるのです。私たちも微力ですが、がんばりますので、村民のみなさんからも、積極的な協力をお願いします。

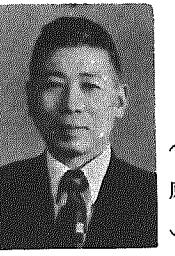
昭和56年度、村政功労(徳行)者決まる

表彰式は、文化の日に静闇狂で

多年、教育長、助役として奉職、村政の発展と地方自治の振興に貢献されたとともに、退職に際し村政振興のために多額な淨財を寄付されました。



△大越 要一さん
(原)

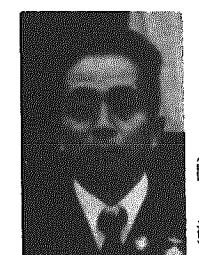


△田中 高蔵さん
(間瀬)



△田中 隆策さん
(和納六区)

多年、農業委員として活躍、農業行政の発展に貢献されました。



△田中 昭吾さん
(間瀬)



△小林 甲一さん
(楠本)

本村の酪農振興に貢献されたとともに、郡、県酪の要職としての活躍が認められ、この程、農業行政の発展に貢献されました。



△小林 昭二さん
(和納六区)

私は、本年四月一日付で岩室村交通指導員に嘱託されたことから、毎月の活動計画書に基づいて、小林指導員とともに街頭指導に従事しております。交通安全隐患施設の不備がないか、などを気をくばっております。車の少なかった昭和二十年代は、道を聞きながら走った時代では、道路標識といえども、"徐行"の標識があつた程度でした。当時、徐行とはどうゆう速度か……ときいたところ、いつどこから飛び出しがあつてもすぐ止まる速度という答えでした。"徐行"の標識のあるところは、学校の近くや神社の近くにあったものです。ところが、最近では見て走る時代といわれ、道路標識の種類が多く、ドライバーにとつては

村では、去る十月十七日、審査委員会を開き、本年度の村政功労者及び徳行者として、次の方々を選び表彰することを決めました。いずれも、村政の発展のために貢献された方や、福祉、教育の振興のために多額な淨財を寄贈されたなど徳行のすぐれた方です。表彰式は、今月三日の文化の日に静闇狂で、記念品が贈られ、それぞれの功績を讃えることになっています。

みんなですすめよう 交通安全

岩室村、交通指導員
竹内一雄